

チェルノブイリ通信

発行 チェルノブイリ支援運動・九州 事務局
連絡先 北九州市八幡東区春の町1-3-7 日開荘2号
Tel・Fax 093(681)1780

口座番号 01770-1-65328
加入者名 チェルノブイリ支援運動・九州

1995年7月18日

No.

30

早くも増刷!

わたしたちの涙で雪だるまが溶けた
～子どもたちのチェルノブイリ～

チェルノブイリ支援運動・九州 編
発行 梓書院
定価 1300円



「井筒屋ブックセンター-QEST」特設コーナーにて

チェルノブイリ通信No. 30号を お届けします

いよいよ夏ですね。ここ支援運動・事務所は、冬は日がささず、夏は最高に日当たりが良いのです。事務局員にとっては、まさに苦難の季節の到来となります。

しかし、ゆでだこになりながらも事務局が活気づいているのは、チェルノブイリの子どもたちの作文集「わたしたちの涙で雪だるまが溶けた」の売れ行きが絶好調だからです。くわしくは、通信の「雪だるまニュース」を！

それから、サナトリウム九州の最新報告もあります。

今回の内容

- 作文を書いた子どもたちが来日
- 作文集の最新情報「雪だるまニュース」
- みんなの力でベストセラーにしよう
～ベストセラーアイデアにご協力を
- 作文集の原画展を開催について
- サナトリウム九州報告
- 北九州国際交流ウィークについて
- 広川隆一カレンダー販売
- その他

……となっています。

作文集を書いた 子どもたちが 来日します

前回の通信で、6月に来日するとお知らせしましたが、ベラルーシ側の都合により8月に変更になりました。皆さまにはお騒がせして、本当に申し訳ありませんでした。しかし、時期も夏休みとなりますので、中・高生の方々も参加できるのではないかと思っています。場所等の決定がまだの所もあります。くわしいことは、担当となっている各地窓口、又は、支援運動事務局まで問い合わせください。

来日するメンバーと書いた作文は、以下のようになっています。

- リュドミラ・チュブチクさん
(女 1981生)「私は生きる」
- ピクトル・ブイソフさん
(男 1979生)「苔、ああ苔」
- エレーナ・メリニチェンコさん
(女 1977生)「母のもとに6人残った」
- オリガ・ジェチュックさん
(女 1977生)「ハッカの匂い」

がした」

・ワシーリ・ヤコベンコさん

(今回の作文の募集の主催団体、サ
ナトリウム九州の共同運営団体「社
会エコロジー同盟チェルノブイリ」
議長)

* 前回の通信で紹介したオレグ・ポノマ
リョフさんは、都合により来れなくなりま
した。

日程

- 8/2 (水) 東京着
- 3 (木) 東京での交流会
- 4 (金) 東京→長崎 移動
- 5 (土) 「長崎平和のつどい」
に参加
- 6 (日) 北九州での交流会
- 7 (月) ヤコベンコさんと会談
- 8 (火) 熊本
・小学校との交流会
・交流会
- 9 (水) 熊本→大分 移動
- 10 (木) 大分での交流会
- 11 (金) 大分→東京 移動
- 12 (土) 東京発

**お近くの交流会に
ぜひ参加を!**

作文を書いた子どもたちを交えて、
各地で交流会を行います。出かけられ
る会場がありましたら、ぜひご参加く
ださい。なお、会場の広さや、地区に
よっては飲食等の関係もありますので、

参加される場合は事前に連絡をしてい
ただけたらと思っております。

東京での交流会

日 時：8月3日(木) 18:30～
場 所：文京シビックセンター(4階
シルバーセンター・ホール)
文京区春日1-18-21(文
京区役所内)

連絡先：TEL&FAX

03-3411-0108(河上)

長崎平和のつどい

日 時：8月5日(土) 14:00～
連絡先：Tel

0958-47-1823(川原)

北九州での出版記念交流会

日 時：8月6日(日)
14:00～16:00
場 所：国際村交流センター会議室
(八幡東区平野)

連絡先：TEL&FAX

093-681-1780

(支援運動・九州事務局)

熊本での交流会

場 所：ヨーズギャラリー(葉祥明さ
んのギャラリーです。熊本市水
道町1-7)

連絡先：Tel

096-363-2654(中島)

大分での交流会

連絡先：Tel

0975-69-9942(秋月)

わたしたちの涙で雪だるまが溶けた～子どもたちのチェルノブイリ～

最新情報 雪だるまニュース

みなさん、「わたしたちの涙で雪だるまが溶けた～子どもたちのチェルノブイリ～」はもうお読みになりましたか？ たくさんの人達の思いを込めて出版されたこの本です。「反応はどうかしら？」「売れ行きはどうかしら？」と、ハラハラドキドキしていらっしゃる方も多いはずです。『本』の近況報告をいたします。どうぞ、この本を広めるための参考にしてください。

夏期課題図書に決定！

今年の北九州・京築地区学校図書館協議会夏期合同研修会課題図書に決定しました。たくさん的高校生たちがこの本を手に取り、読むきっかけとなってくれたら幸いです。

なお、この夏期生徒図書委員合同研修会は、7月26日（火）午後1時から門司区のめかり山荘で行われます。深江代表が講演をし、その後分科会に分かれて研修が行われます。分科会では、この作文集の編集プロジェクトチームの一員として活躍した高校生も話をします。



早くも増刷！

地方市民運動団体の本なら3000冊が限度という声の中で、「この本を多くの人に読んでもらうためにがんばろう」と、初版一万冊に踏切ましたが、出来上がりから20日足らずで、早くも5000冊増刷しました。販売の協力をしてくださった皆さん、ありがとうございました。事務局には、連日、100冊以上の注文が舞い込みます。九州電力が新しい原子力発電所の立地候補地としてあげている宮崎県串間市では、すでに500冊売れているなど、この本の力のすごさを実感しています。

テレビ・新聞でも報道

新聞、テレビでも次々に取り上げられています。

◆テレビ TNCニュース（特別枠で）

◇新聞

佐賀 4/28、南日本 4/28、中国 5/2、
読売 5/23、日本海 5/23、朝日5/26、
西日本 5/26、毎日 5/26

朝日 4/23（「声」欄）、西日本

5/8 (「紅皿」欄)、南日本 6/11
(「南風録」欄)、熊本日日 7/9
(「私の三ツ星」欄)

※ NHKがスペシャル番組を
検討中です。お楽しみに。

書店QUESTで特設コーナー

九州最大の書店「井筒屋ブックセン
ターQUEST(クエスト)」(北九
州市小倉北区)の1階書籍売場で、こ
の本の特設コーナーが設けられました。

みんなの力でベストセラーにしよう！
～ベストセラー・アイデアにご協力を～

このような性格の本が、ここまで来
れたのは、やはり今までの会員さんを
はじめとする皆さんのご協力のおかげ
と思っています。これからも、この本
をたくさんの人達の元に届けるため、
多くの人の力を集めながら、地道に長
く、一つの運動として取り組んでいき
たいと考えています。

そこで、前回の通信でベストセラー
にするためのアイデアを募集したと
ころ、たくさんアイデアが寄せられ
ましたので、紹介をします。事務局
で対処できるものは行いましたが、会
員の皆さんも協力していただかなくて
はできないものもあります。ぜひよろ
しくをお願いします。

本に載っている写真を掲示し、支援運
動・九州の活動の紹介がされています。

先日、クエストのフロアマネージャ
ーの方が事務所にいらっしやって、
「夏の平和教育には『戦争はかわいそ
う残酷』というだけのものではなく、
もっと掘り下げて考えていくためにも、
この夏はこの本を取り上げて行きたい」
という申し出がありました。北九州近
郊の皆さん、クエストに行った時は、
ぜひのぞいてみてください。

●ラジオ番組、新聞に投書を!

仕事をしながら、勉強をしながら、
よく聴くラジオ番組はありませんか？
この本の感想、紹介をぜひ投書して
てください。ラジオでは環境問題など
のアピールもよくされているそうです。
かつての深夜放送族だった事務局員も
昼間の生活をするようになってからは、
さっぱりラジオ番組にはうとくなくな
ってしまいました。作文を朗読してく
れるような番組などありましたら教え
てください。場合によってはこちらから
本を送ります。

新聞については、事務局員、会員、
読者の方々からの投書が次々と取り
上げられています。今後もぜひお願い

ます。また、ミニコミなどにも皆さんも各自でどんどん投書してみてください。事務局も相談にのります。放送されたり、載った際は、事務局に連絡してください。または、載ったものを送ってください。

●出張販売を！

フリーマーケット、講演会など売れる場所がありましたら売ってください。連絡していただけたら、こちらから本を送ります。ご自分で行けない場合でも、事務局が行けるかもしれませんので、教えてください。

●学校の図書館で購入を！

小学校高学年から読めます。課題図書になっていると言ったら抵抗なく購入していただけます。PTA文庫でも薦めてください。

●自然食品店や有機農産物の店に置いてもらう。

事務局でわかっている所は案内を出しました。注文も来ていますが、まだまだつかめていないところもあります。ぜひお知り合いのところに薦めてみてください。

●色々な市民運動グループやボランティア団体に紹介する。

これも知っているところは連絡を取っていますが、把握できていないグループもあるはず。たくさん注文の

取れそうなところは見本として献本ができます。事務局にご相談ください。

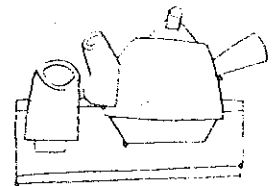
○グリーンコープ生協のカタログに載せる。

大きく取り扱っていただきました。グリーンコープで扱った書籍としては、過去ダントツ最高の1537冊の注文がありました。これからも時々書籍購入のチラシで案内して下さることになっています。

○全国のおやこ劇場・子ども劇場に紹介。

たくさんの励ましのお便りとともに、全国10カ所以上のおやこ・子ども劇場から（九州内は、グリーンコープが割引値で注文を取っているの難しいみたいでしたが…）150冊近くの注文が来ています。おやこ・子ども劇場のお母さんたちが、いかに子どもの未来を考えているか、行動力があり感性が豊かであるかを改めて感じました。（支援運動・九州事務局のお隣の部屋は、実は八幡東子ども劇場です）

○その他、取り上げてくれそうなミニコミの具体的な名や、各新聞の書評欄、天声人語に載せてもらうようにしたら、などありました。これらも場合によっては見本を送り、手紙を書いて対処しています。



のそいてみませんか やってみませんか 子どもたちの絵の原画展

本に掲載されているベラルーシの子どもたちの絵の原画、葉祥明さんのカバー・扉絵の原画、支援運動・九州の調査団が現地ですべて取ってきた写真のパネルなどの貸し出しをやっていきます。

今後の原画展・パネル展日程

- 7/11~23
熊本YMCA国際センター
子ども会館
- 8/6 ピース'95 8.6市民のつどい
(福岡県教育会館1階)
- 8/6 北九州交流会
(国際村交流センター)
- 8/10 飯塚平和のつどい
(飯塚コスモスコモン)
- 8/10 熊本交流会
(ヨーズギャラリー)
- 9 (期間は未定) 唐津
- 10/1~14
宗像ユリックス
- 10/8 国際交流ウィーク
- 12/2~9 串間市

上記の他にも高校の学園祭でやりたいという問い合わせもきています。もちろん大歓迎です。くわしくは、事務局まで。

□■原画展をやって□■

鹿児島窓口 宮路慶子

「子どもたちのチェルノブイリ絵画展」として、三越、コープかごしま2店舗で各3日間、絵画と写真を展示しました。

企画の段階で、展示会場を会議室、ギャラリー等を借り有料とするか、もしくは無料、又は安価な会場で、多くの人の目に留まる所とするかで、私達は後者を選択しました。何と言っても、人手不足、資金不足・・・。

が、結果としては、う～ん・・・じっくり見てくださった方もいらしたけど「チェルノブイリって・・・何?」、一蔑チラリがほとんど。「外国は、いろいろ大変よね。」の声も。これが、原発立地県の反応かと、がっかり来ました。でも、そうなんだよね、チェチェンもクロアチアも戦禍はまだ続いているけど、ニュースの旬を過ぎてしまい「数百人死亡」なんて記事が出ても目には入ってこない。もう過去の出来事となっている。そんな時代なんですよね。だからこそ、作文集を読んでもらい、ノーモア・チェルノブイリと繰り返さねばと思ひ直して、作文集の在

庫と闘っております。

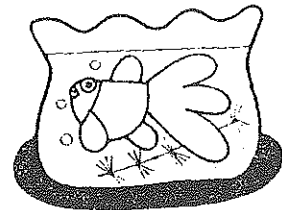
ところで、私の得意なバカ話を一つ。Mデパートの展示作業は閉店後からはじめまして、2時間後、ぱっちりね！と店を出ようと、教えてもらった扉のノブを回したら、鍵がかかっていた。「すみませ〜ん、まだ中にいるんですけど・・・」叫んでもなんの反応もなし。まさか、閉じこめられたの？でもさあ、地下に行けば食いもんあるし、一晩くらい大丈夫よね。」「ふとんもあるしね。」とサバイバルに強い私達。

結局、店内の公衆電話から電話したんです、Mデパートに。「私達、閉じ

込められているんですけど・・・」って。

まさかあ、入店、出店のチェックって厳しいでしょうって、みんな信じないけどMデパートって結構アバウト。

ほんとの話はなしよ。以上。



サナトリウム・九州 最新報告

子どもたちの療養の
状況についての報告

医療副主任

ラリサ・ヤコベンコ

2月6日より7月1日まで、203人が療養した。

これらの子どもたちはチェルノブイリ・ゾーンからの移住者である（ナローブリャ、ブラーギン、ホイニキなど）。

彼らは大きな病気の「花束」を抱えている。この主なものは消化器官の疾病（慢性胃炎、十二指腸炎、全腸炎）、ほかに甲状腺肥大（24%）、甲状腺

腫、慢性扁桃炎、自律神経失調症（10%）、風邪の症状（11%）、たびたび起こる鼻からの出血である。筋障害も見受けられる（12%）。

完全に健康な子どもは10%にも満たない。しかし、彼らの中には、情緒障害、扁平足、鼻の仕切りの湾曲などが見受けられる。

彼らは全員、ビタミン療法、蜂蜜療法、植物療法を受け、エコーによる検査を受けた。

子どもたちは、慢性、急性の疾病にたいする治療を受けた。週1回、温浴療法、週1回、サウナ療法を受けている。薬の服用も受けている。

体育治療もおこなわれている（室内体育館、テニス、球技など）。

療養のあと子どもたちの気分は大分よくなる。この点に関しては、専門家や両親が証明している。

7月4日より、53名を療養に受け入れる。

1995年7月3日

* 日立市の「チェルノブイリの子供を救おう会」の久保田 譲さんが、ベラルーシを訪問された際、サナトリウム・九州に立ち寄っていただきました。その訪問記の中から抜粋します。

可愛い子どもの顔を見に

ベラルーシ訪問記

久保田 譲

4月13日（木）晴れ

サナトリウム九州訪問

8時40分にウラジミール先生が来て学校に寄り、9時20分チェチェルスク出発。時速80～100kmで走り、13時にスタイキ村の「サナトリウム・九州」に着く。ここはスポーツ選手のリハビリ施設で、その一部を改装して汚染地区の子供を収容している。食事管理、機器診断、物理療法による治療を行っている。当日はブラーギン、チェチェルスクなどから新しく入所したので院長（不在）の奥さんで副院長のラリーサさんは多忙を極めていたが、いろいろ説明して下さった。収容に

人数は85～100人で24日間滞在する。子供たちは甲状腺肥大が多く、胃カタル、アレルギー、頭痛、血圧変動もある。2月に来た85人のうち完全に健康な者は一人もなかった。多くのビタミン剤と蜂蜜で治療しており、1日3回薬草を使う。マッサージ、ハイドロマッサージを行う。運動として卓球をさせているが、ボールが足りない。ビタミン剤の大半は日本のチェルノブイリ支援運動・九州から来る。7～15歳を受け入れるが教育の都合上同一学年にしている。今日入所したのは8学年なので、かなり背が高いが顔色はよくなかった。

* 久保田さんからは、お手紙が添えられ、「ベラルーシ国内にこのようなサナトリウムがたくさんできるように支援してゆくことが今後ますます重要になると思っております。」と、ありました。



作業ボランティアの募集

通信や本の発送作業をしていただく作業のボランティアを大募集しています。作業の内容は、どなたでもできる簡単なものです。お礼は…

時給500円+交通費+コーヒー
…です。

北九州国際交流 ウィークに出店します！

北九州市では、10月1日～8日、市内一円において、一般市民を対象に世界の文化や風俗を紹介する事業を展開する「'95国際交流ウィーク」が開かれます。今年は、チェルノブイリ支援運動・九州も参加をします。

最終日には、国際村青空市場に民芸品やベラルーシ料理コーナーを出す予定です。ぜひ遊びに来てください。

日時：10月8日（日）

午前10時～

会場：国際村交流センター中庭
（北九州市八幡東区平野）

*他の国際交流団体も、その国の料理や民芸品などの販売を行います。たいへん賑わい、楽しい催しですので、お昼ご飯を食べにぜひお出かけください。チェルノブイリ支援運動・九州のコーナーで「会員です」と言えば、何か特典があるかも……

お手伝いの募集

ということで、この日のお手伝いを募集しています。まだ何を出店するか決定はしていませんが、ロシアンティーとミニピロシキのセット、ボルシチ等を予定しています。前日の仕込みでも、出店をのぞいたついでに30分間店番…というのでかまいませんので、

ヨロシク！



広川隆一写真展事務局より チェルノブイリ10周年 カレンダー予約募集！

写真家広川隆一さんの撮った「チェルノブイリと核の大地」のカレンダーができました。カレンダーはチェルノブイリを中心に、英・米の核汚染地と広島など12枚の写真で構成され、サイズは、縦56cm×41cmの大判です。一年終わった後は、切り取って小さな写真展ができます。これらの写真は、日本各地で350回以上展示され、キエフの歴史博物館でも展示されています。

価格：1500円（送料実費）

* 希望される方は、事務局まで。
10月にはお届けできる予定です。

第5次現地調査団団員募集

9月中旬に約10日間の予定で、調査団を派遣します。訪問先は、サナトリウム・九州、また、作文を書いた子どもたちを訪ねて本を進呈します。NHKが同行する予定もあり、日程はまだ決まっておりません。

くわしいことは事務局まで。

「わたしたちの涙で雪だるまが溶けた」の感想の葉書が 次々と戻ってきています！！

福岡市 18歳・女 書店にて購入

●チェルノブイリの皆さまへ

この本を読んで、皆さまの言葉に上がる訴えは私の心に深くささり、何かしなければという思いで一杯になりました。ぜひ真っ暗な中からもひとすじの希望の光はあるはずなので、その光を見つけて明るく過ごして頂きたいと思います。軽い言葉に見えるかもしれませんが、心から頑張ると言いたいです。

徳島市 35歳・女 子ども劇場にて購入

●事故のことは知っていましたが、その後子どもたちや大人たちがどうなったかはしりませんでした。大人たちのいろいろな欲のため、こどもたちも巻き添えにし、命を大切にされていない。二度とこのようなことが起こらないように書いてくれた子供たちに頭が下がる重いです。

鹿児島市 43歳・女「平和のための戦争展」会場で購入

●本のタイトルを見て、すぐ買い求めました。1986年4月26日で歴史を画するというのを改めて知らされました。一つひとつの文は涙なしに読めません。今、地球上に住む大人たちとして何もしないことは無責任になるのだと思いました。自分が買って読んだ次の日から回りに本書を広めています。

宮崎市 女 友人よりプレゼント

●涙を流しながら拝読いたしました。今、宮崎では申間市の原発の件が気になるところです。申間に住む伯母に読んでもらおうと用意してましたら、伯母も私達に読ませようと申間で手に入れたとのことで、二人で笑ったことでした。チェルノブイリが人災であったこと、情報の貧しさがもたらした不幸をつくづく感じました。伯母も同じ思いでページをめくったといいます。この良い本をもっともっと読んでもらいたいとつくづく思っております。



お便りありがとうございました！

わたしたちの涙で
雪だるまが溶けた

チエルノブイリ支援運動・九州編

☆☆☆ 私の三つの星

一九八六年四月二十六日。チエルノブイリ原発事故の起きたその日のことを一とだけだけの人が記憶に残しているだろう。

汚染された地、ベラルーシ共和国に
いまだに暮らす二百二十万人の人々。
私たちは、その現実の姿をどれ
だけ心に刻みつけているのだろうか。
事故後八年、九四年に行われた、
その地に暮らす子どもたちの作文コンクール。「私の運命の中のチエルノブイリ」というテーマに寄せられた五百編の作文の中で、五十編が日本語に訳された。

希望求め生きる子供たち

一つ一つの作文に、今その時を生
き抜く子どもたちのせつなさがにじ
み出る。生に失望しながらも、必死
に希望を求め続ける子どもたち。「ど
うしたら放射能が充滿し、神様さえ
も見離しきつたこの世の中に生きる
ことが好きになれるの。人間の愚か
さに呪いあれ。チエルノブイリに呪
いあれ！」と呼ぶ十九歳のオリガ。
「チエルノブイリ！ おまえばどれ
だけの悲しみと泣き声を家々にもた
らしたのか」とガリーナ。「それ
でも私には、夢がある。いつの日か、
川や湖が再び甦えり、雨もまた命を
与え、太陽は再び魔法の光で、私の
疲れた大地をやさしく暖めてくれ
る」というセメンチェツクの夢。子
どもたちの叫びを聞き、人間の理性
とやさしい心だけが、痛み苦しみを抜
いている大地を救うことができる
と訴えるイーゴリ。私たちはこの真摯
(し)な叫びにどれだけ心をえ得る
のか。(梓書院・一三〇〇円) 岩
下育男、熊本市、教師

6月11日 南風録

あの忌まわしい
チエルノブイリ原
発事故の衝撃が九
年を経てよみがえ
った。最近出版さ
れた「わたしたちの涙で雪
だるまが溶けた」(梓書院)
を読んで、あらためて暗
んとした思いにかられた▼

事故は一九八六年春起こつた。大爆発による放射能の
拡散でベラルーシ(旧ソ連
白ロシア)には多くの死の
町、そして風下の町が生ま
れた。本はそんな汚染地域
で被災した子供たちの作文
集である▼十六歳の少女が
書く。「空は真っ青、太陽
がやさしく照り輝き、大地
は喜びに満ちあふれていた
かのようにでした。神様、何
でいってくれなかったのだ
ですか。太陽も、空も、空気
もすべて既にチエルノブイ
リの灰で毒されていたこと
を」▼幼い子供たちが大き
くなつて「運命の日」に襲
われてからの日常を全力で
つづり、胸を打つ。「喜び

は幼年期に置いてきた」最
後の授業のベル」。それ
ぞれの短編は家族、健康、
豊かな自然を奪われ、今も
生と死に揺れながら後遺症
に苦しむ深刻な境遇を紙背
ににじませる▼作文はもと
も現地の市民団体が九四
年にコンクールとして募
集。そのうち優秀作品五十
編を北九州市の市民団体
「チエルノブイリ支援運動
・九州」(深江守代表、電
話093(681)178
0)が日本語に翻訳、出版
した。ほとんどが中等学校
(六歳から十六歳)に学ぶ
高学年の生徒らの作文であ
る▼「絶望や悲しみだけで
なく、大人の無責任さを告
発しながら将来への希望も
忘れぬ。こんな感動は初
めてでした」と深江代表は
いう。広島、長崎―そして
「原発」を抱えるわがふる
さと。さまざまな立場から
の意見がある。それだけに
「原発」を発言する人々は、
こんな声も知っておく必要
はないだろうか。